



# Central Times

## 3月臨時増刊号 2006. 3. 11

2005年度宗像杯 U-12 (6年生)  
2006.2.26(日),3.5(日) なまずの郷グラウンド

### 宗像杯 祝優勝!

2月26日(日) (予選リーグ)

- vs FC福興 4-0 勝ち
- vs FC玄海 5-0 勝ち
- vs FC日の里 7-0 勝ち

リーグ1位でトーナメント進出

3月5日(日) (決勝トーナメント) 結果

- 準々決勝 vs FC河東 2-1 勝ち
- 準決勝 vs FC福南 3-1 勝ち
- 決勝 vs FC自由ヶ丘 2-0 勝ち



優勝!

優勝おめでとう! 「ゴールを奪い、ゴールを守る」というサッカーの本質を重視し、「シュートが打てる時は打つ」「ボールに最も近い人のファーストディフェンス」をテーマとしました。そして、戦う気持ちを奮い立たせると、勝つことは決して簡単なことではありません。精神的なプレッシャーもある中で、自分たちのプレーをすることを意識し、仲間と声を掛け合って集中力を維持できたことで、各自の技術が発揮でき、結果としてチームも「優勝」というビッグタイトルを手にしたのだと思います。6年生は小学校生活最後の大会となる「岩熊杯」が控えています。今回の結果を糧に、悔いの残らないように思いっきりサッカーを楽しみましょう。(古賀)

1試合目のFC河東のゲームは固さが見られましたが、2試合目、そして3試合目、試合を重ねるごとにボールがよく動き、特に守備の意識の高さが目につきました。風には悩まされましたが、本当によく闘ったと思います。6年生は3月18日(土)・19日(日)に「岩熊杯」に参加します。6年生最後の大会参加です。みんなで一生懸命がんばりましょう!! (大石)

### 第7回香月招待3年生サッカー大会 U-9

2006.02.25-26 北九州市立香月小学校

3年生になって、初めての試合という事もあり最初は戸惑いと緊張があったようでした。試合の前に子供達に3つのテーマを投げかけてみました。「サッカーを楽しむ事」「取られたら取り返す気持ちが大事」「ゴールに向かう気持ちが大事」という内容でした。試合の回数を重ねるたびに子供達の表情がすばらしいものになっていったのは保護者の皆様も感じてあったのではないのでしょうか? 結果を問わず、一つのボールをみんなで一生懸命追いかける姿をみていて、改めてサッカーの楽しさを思い出させてもらえました。最後に、私と子供達にすばらしい経験をさせてもらった事に大会関係者の方々、保護者の皆様には大変感謝しています。(結城)

### 三戸杯少年サッカー大会 U-11 (6年生)

2006.3.4,5 旭小学校グラウンド 鳥栖市北部グラウンド

予選リーグ

- vs 立花FCジュニア 0-0 分け
- vs 旭FC 0-1 負け
- vs 基山レッドスターズ 1-0 勝ち

3位トーナメント

- vs サガン鳥栖U-12 (2日目からの参加) 3-3 PK (4-5) 負け
- 1回戦敗退 フレンドリーへ
- vs 岡山少年サッカークラブ 1-2 負け

抽選により3位トーナメントへ

### 第20回城島少年サッカー選手権大会 U-10(4年生)

2006.2.25(土),26(日) 城島総合運動公園ふれあい広場

1日目

- vs 荒木FC 1-1 分け
- vs ベラーダFC U-10 1-2 負け
- 勝ち点 得失点差が荒木FCと同じため抽選
- 予選リーグ2位で順位決めへ
- vs 諸富SSC アミーゴ 1-3 負け
- 予選グループ 総合4位で決勝トーナメントへ

2日目

- vs 城島FC 0-1 負け
- 決勝トーナメント 1回戦敗退
- vs 小郡ジュニアFC 0-1 負け

4年生の集大成としてのぞみました。一年間練習してきたことを存分に発揮し、それに結果もついてくれば、と考えていましたが思うようにいかず、結果も勝つことができず、結果も勝つことができませんでした。しかし、他チームとの大きな力の差はなく、トラップキックなどの小さなプレーの精度の低さを実感しました。今年は5年生になり、試合の数も増えていきます。その中から徐々に試合独特の雰囲気慣れながら、決して日頃の練習を怠かにせず日々努力して欲しいものです。応援にかけつけてくださった保護者の方々ありがとうございました。(小川)

1日目の予選リーグは他チームとの力の差は感じられず、全て1点を争う試合になりました。「ボールを受ける前の準備」として首を振って周りを見るように意識しましたが、トラップミスが多くボールを回してゴールへ向かうまでに至りませんでした。キックミスとボールを空振りしたプレーから失点を許したことから、ミスの怖さを学べたのではないかと思います。勝利を目指し望んだ3試合目もこのまま引き分けかと思われた後半ロスタイムにベンチへ応援団もハラハラの中ゴールを奪うことができ、2位チームと同率で並びましたがコイントスでの抽選で敗れ、3位トーナメントに進むこととなりました。まだまだ球際でボールを怖がったり、足だけでディフェンスをしたりと課題が残りました。2日目は鳥栖市北部グラウンドという綺麗な芝生でプレーすることが出来ました。1回戦の相手が「サガン鳥栖U-12」(1日目は参加していない)ということもあり選手たちは不安な面持ちでしたが、試合が始まり自分たちでも充分通用する」と気持ちが上がり、一度は1-3にまで離されましたが終了残り5分で2点を返しました。PK戦では選手達自信で蹴る順番を決め望み、堂々の試合を見させていただきました。しかし、失点した時間を整理してみると「前半開始後すぐ」「後半開始後すぐ」「得点後すぐ」とゲームの入り方、集中力の維持、気持ちの持ち方に問題があったと分かります。気持ちを切り替えて望むべきであったフレンドリーマッチは、多くが3年生4年生で構成されたチームに敗北。単純なミスの連続でしたが技術云々の前に気持ちで負けていました。「悔しくないのか!?」「... うまくないわ!!」「試合に全部出たい!!」そんな選手がまだまだ少ないように感じました。翌火曜の練習(3/7)...目の色を変えて真剣に練習に取り組んでいた選手が何人かいたことがよかったです。(小川)

三戸杯 5年生



### ~お世話になった福岡教育大学サッカー部のコーチからのコメントです~

どれだけコーチとして貢献できたのかは分かりませんが、子供達と触れ合うことができて非常に楽しかったです。またセントラルのコーチの方々から多くのことを教わることができ、勉強になるいい経験ができました。これもセントラルのコーチの方々、保護者の方々、そして子供達のおかげです。本当にありがとうございました。<松藤彦太>

宗像セントラルでは、大変貴重な体験をする事ができました。子供たちに指導をしてい中で、指導の難しさを改めて痛感いたしました。楽しい事もたくさんありました。また子供たちの素直な意見も聞き取ることができ、私自身大変勉強になりました。本当にありがとうございました。最後に宗像セントラルのサッカー会での益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。<竹内裕一>

自分は約一年間、主に五年生を中心に宗像セントラルの指導補助をしてきましたが、教師になってサッカーの指導をしていく自分にとってとても勉強になりました。いい経験ができました。最初は戸惑う事が多く大石さんなどのスタッフの方々や子供達にいろいろと助けをもらいました。小学生の指導は難しいと感じましたが、それ以上に楽しくやることがあります。自分は来年も指導に関わりますので今後もサッカーを通して子供達がサッカーだけではなく人間的にも成長できるようにしていきますのでよろしくをお願いします。<百田裕>

自分は途中から入ったので一年間ではなかったのですが大変いい経験になりました。子供に指導するにあたり、自分は普通に出来る技術や戦術を言葉やジェスチャーを使って教えることの難しさに気づき、初めのうちは戸惑いましたが、大石さんの指導法などを参考にしながら日を重ねるごとに、自分自身成長することができたと思います。これから指導者を目指すのに大変勉強になったのでよかったです。<前杉省吾>



セントラルのみなさん、スタッフの方々、保護者の方々、短い間でしたが本当にお世話になりました。普段プレーする側の私達にとって、指導経験をここで積めたことはとても重要な体験でした。これからも頑張ってください。<長浜隆浩>

自分は途中からの参加で、始めはどの程度教えていいのか分からず戸惑うことが多かったのですが、みんな積極的に教えたことを吸収しようという努力をしてくれたのでとてもやりがいがありました。今年は去年以上に沢山のことを教えていきたいと思っています! よろしくをお願いします。<古村浩祐>

今年度、初めて宗像セントラルの指導補助として現場にたったのですが、たかさんの元気一杯でサッカーが大好きな子供たちに恵まれたお陰で、1年間楽しく指導することができました。ときには厳しくすることもありましたが、素直な子供たちなのでいろいろなことをすぐに吸収してくれて、楽しみながら指導することができました。また、大石監督はじめコーチの方々、保護者の方々には毎回、大変よくしていただき誠にありがとうございました。自分たちは卒業しますが、セントラルのこれからの発展に期待しつつ、またどこかで支援できればと思います。一年間ありがとうございました。<木下健生>

一年間とても楽しく充実したコーチ生活を送らせていただいたのも、大石さんをはじめとするスタッフの方々や保護者の方々の厚いサポートのおかげだと思います。本当にありがとうございました。そして、選手のみならず、世界を変えることは難しいですが、自分を変えることは可能です。日本だけでなく世界に名をとどろかす選手をめざしてがんばってください。<佐藤直樹>

私は8月から半年間、中学生を中心に指導させて頂きました。指導とは言いつつ、自分が教える事以上に彼らが色んな事を教えてくれた気がします。素直な心、サッカーを楽しむ心など、彼らが思い出させてくれました。また、試合をする中で勝ち負けはありましたが彼らと喜びや悔しさを共にした事はとてもいい経験となりました。最後に、学生自身で指導者としても未熟な私にご指導してくれた大石さん、安藤コーチ、そして保護者の方々、本当に有難うございました。<山本大樹>

今回指導の立場で依頼が来てもう1年が経ちます。暗中模索の中バタバタと月日は流れました。今思えば思春期の生徒にしっかりと向きあえたのか、しっかり指導できたのか後悔ばかりが思い浮かびます。私なりに一生懸命でした。時に激しく時に笑いながら過ごせました。大学生活のなかでもとても重要な思い出です。みんな(中学生)との出会いに感謝。そして大石さん、太田先生また諸ご父兄の皆様には多大なるご理解とご配慮に感謝いたしております。いつかきっとまたみなさんに再会し話ができればと思います。本当にお世話になりました。みなさんとの出会いに感謝。PS たまに、まれに笑ってくれるHくんの笑顔にも感謝 <森下 和哉>



城島杯 4年生



香月杯 3年生